

平成21年度北海道PCB廃棄物処理施設総合防災訓練の実施結果について

1. 実施日時 平成21年10月8日(木)10時00分～11時00分(天候:曇り)

2. 場所 北海道PCB廃棄物処理施設 処理棟

3. 参加人員・装備

公設消防隊:隊員 :27名

車両 : 6台(消防車4、救急車1、機材運搬用トラック1)

除染テント: 1張

化学防護服: 6着

JESCO :28名

MEPS :86名

4. 訓練の目的

今回の総合防災訓練は、震度 の地震、火災及び PCB の汚染を伴う負傷者の発生を想定事象とし、運転会社である室蘭環境プラントサービス(株)(MEPS)との連携のもと、災害発生時の基本行動である連絡・通報、初期消火、避難・人員確認、被災者救護等の防災活動や関係機関との連携等が迅速かつ適切に実施されることを目的とした。

また、消火活動と PCB の除染活動については消防署殿との連携を取り込んだ訓練とする。

5. 訓練概要

今回の訓練は、北海道事業所において 震度 の地震発生(設備の自動停止を伴わない規模)、火災発生(当事業所で PCB の分解に使用している SD(金属ナトリウム分散体)室から出火)、負傷者発生(管理区域レベル3のコンデンサ解体エリアからの避難中に作業員1名が転倒負傷し、さらに防護服が破れ PCB 汚染のおそれあり)という想定で行った。

その結果、予定していた下記訓練項目を JESCO、MEPS、室蘭市消防本部の連携のもと、滞りなく行い、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認できた。

[訓練項目]

(1)火災発生時の連絡・通報

(2)自衛防災隊設置

(3)消火活動(ライフゼム装着による初期消火、粉末消火設備起動)

(4)避難、誘導(見学者含む)

(5)負傷者救助(公設消防による PCB 汚染のある負傷者の救出及び除染並びに救急搬送)

(6)関係機関への通報・連絡

(7)地震発生時の設備点検

6. 訓練実績時刻

時刻	指示・報告・連絡者等	事象
10:00頃		地震発生
10:01	全館放送	「地震発生」を全館放送
10:07	副所長	中央制御室(以下「中制」)より「設備点検結果、異常無し」報告
10:10	副所長	「SD搬入室を除き設備異常なし」報告
10:11	担当調査役	「10:10にSD室でSD漏洩、MEPSで拭き取り作業を開始する」連絡
10:15	全館放送	「SD搬入室で火災発生、MEPS2名ライフェムを使用し初期消火に向かう。」
10:15	火災報知器作動	
10:18	所長 副所長	・副所長へ対策本部・指揮本部設置を指示、全員に避難指示。
10:18	所長 副所長	・上記を全館放送することを指示
10:21	所長 MEPS	・自衛消防隊設置 指示
10:22	全館放送	コンデンサ-解体室で甲斐係長(31歳男性)が負傷、防護服が破れPCB汚染の可能性あり
10:23	自衛消防隊	自衛防災隊 設置 完了
10:23	所員	避難実施
10:24	公設消防	公設消防隊(消防車他)到着
10:24	所長 総務課長	第1報 報告の連絡指示
10:24	自衛消防隊 所長	初期消火 失敗連絡
10:25	所長 公設消防	消防指揮権 委譲
10:26	所長 自衛消防隊長	設備緊急停止、SD搬入室粉末消火 指示
10:27	所長 JESCO、MEPS	避難状況報告 指示
10:30	MEPS・各課 所長	避難状況 報告
		MEPS 86名出社中 56名避難完了、2名保安業務、1名負傷、2名介助
		JESCO 23名出社中 23名避難、一般見学者3名避難 完了
10:30	所長	粉末消火 機動確認 指示
10:31	総務課長 所長	第1報 連絡 完了報告
10:32	所長	粉末消火 作動確認 完了
10:33	所長 公設消防	避難者状況 報告
10:34	公設消防	救急車到着
10:35	所長 公設消防	粉末消火 鎮火確認を依頼
10:35	公設消防	除染テント設置完了
10:37	公設消防	負傷者搬出
10:37	所長	介助者2名 避難完了
10:39	公設消防	負傷者収容 :左足負傷
10:40	公設消防	鎮火確認作業 開始
10:42	公設消防	負傷者搬送
10:43	公設消防	鎮火確認作業 完了
10:45	副所長 中央制御室	設備状況確認指示
10:46	副所長 所長	設備確認 異常なし 報告
10:46	所長 各隊長	自衛防災隊の解散を指示
10:47	所長 総務課長	第2報 連絡を指示
10:48	所長 中制	訓練終了全館放送を指示
10:50	来賓 参加者	胆振支庁環境生活課 山田主幹殿、室蘭市消防本部 佐藤消防長殿からの講評
10:55	所長挨拶	訓練終了と来賓への謝辞

* :太字は訓練状況写真あり

7. 反省事項等

(1) JESCO

班毎に腕章を色分けし、各人の役割をひと目で分かりやすくする。
自衛防災隊設置後は、指示・報告が周囲に伝わるようマイクを利用する。

(2) MEPS

トランシーバの使い方のルールに日ごろから慣れておくようにする。

(3) 公設消防

消防車の到着タイミングが早かったが、実際の火災で消防車が早く到着した場合はその
ときの状況報告をすることで良い。今回の訓練もそのようにできた。

終了後の整列の場所には予めマーキングしておくが良い。

(4) 講評における要望事項等

【胆振支庁】小さな事故についても速やかな連絡をお願いする。

【消防長】従業員が一体となって防災力を高め、事故ゼロを目指してほしい。

以上

・訓練状況写真



中央制御室から地震発生時の全館放送



金属火災用粉末消火器による初期消火(模擬)



自衛防災隊設置状況



管理棟からの避難・誘導状況



消防車の到着



対策本部長から公設消防隊長への指揮権委譲



救急車の到着



除染テント設営



化学防護服着用での負傷者の搬送



公設消防隊による鎮火確認



対策本部解散指示



消防長によるご講評